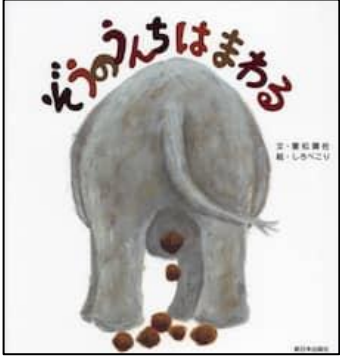
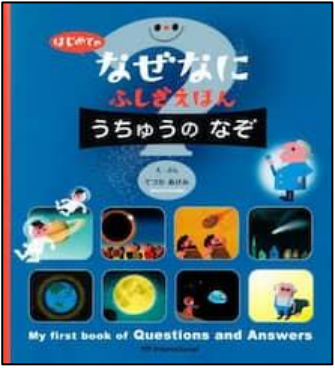


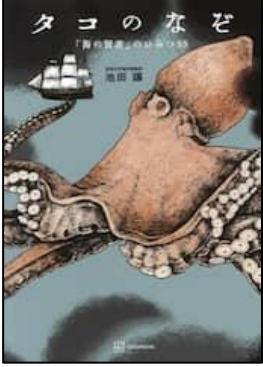
2024年度(令和6年度) 冬休みにおすすめする本					選 定 北海道学校図書館協会
					選定協力 札幌市学校図書館協議会
	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 税込価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など	
幼 児					
1		ぼくのペンギンはどこ？ サム・アツシャー/作・絵 吉上 恭太/訳 978-4-19-865898-4	徳間書店 2024.9 1,870円	目が覚めると、ペンギンのぬいぐるみが見えない。いろいろ探したんだけど…どこにいったんだらう？そうだ、まだ探していないところがあったんだ！おじいちゃんとペンギンを探しての冒険の旅にぐいぐい引き込まれていく。 ぼくのぬいぐるみのペンギンがなくなっちゃった。家中探しても見つからない。おじいちゃんに相談すると、「まだ探していないところがあるじゃないか」って、地下室へ。古いバスタブや、物干し、衣装箱の中も見たけれど、ない。…そうだ！まだ、探していないところがあった。海だよ！おじいちゃんとぼくは、古いバスタブと物干し、ふきんで帆船を作って…さあ出発！庭の池にこぎだすと、ふしぎなことにあたり一面海。海賊船の船長にたずねると、船長が「それならみたぞ。ついてきな」というので、行ってみると、そこにいたのはバンダ！ぼくのペンギン、見つかるかな？	
2		とって オオノ マユミ/作 978-4-8021-3462-0	エンブックス 2024.6 1,320円	「まあいい ぼたん とって くまのぬいぐるみ もこもこもこ」選ぶのはなに？それをどう使うの？絵と文が見事につながり想像力と言葉を育む。 えらんで、とったら、どうなる？ 「すばーん とって」の声がけからはじまる今作は、ちょうど「自分でやりたい！」気持ちがちがむくくと芽生えてきた赤ちゃんにぴったりな遊びを提供することができる絵本です。	
3		ふるかな ふるかな？ キム・ジョンソン/作 せな あいこ/訳 978-4-566-08102-4	評論社 2024.5 1,980円	「ふるかな ふるかな」準備ができて、雨が降るのを待っている小さな女の子とわんちゃん。ふってきた？まだふらない？ 雨、降るといいなあ。女の子とわんちゃんは雨が降るのを待っています。降るかな？いつ降るのかな？—優しい時間が流れる雨の日のお話。	
4		？と！のえほん 1 たれてる 鈴木 のりたけ/作 978-4-591-18326-7	ポプラ社 2024.10 1,210円	思わず「たれてる、たれてる」と手を伸ばしたくなる絵と、たれているチョコレートの行き先にページをめくる楽しさがある絵本。 『大ピンチずかん』の鈴木のにりたけ新シリーズ第1弾！ 「ドーナツにチョコレートをかけて…。あれ、ちょっとかけすぎじゃない？もっっ！たれてる、たれてるって！たれ続けるチョコレートは、いったいどうなるの！？ページをめくるたびに驚きと笑いが生まれる、子どもと大人のツボつくユーモア絵本。	
5		たべられちゃうの？ めんどりさん リチャード・ウェアリング/作 キャロライン・ジェイン・チャーチ/絵 まえざわ あさえ/訳 978-4-86549-335-1	ひさかた チャイルド 2024.9 1,650円	めんどりを食べようと思ったきつね。待てよ、もっと大きくなるまで待ってみた。よし今が食べ時だち走りだした。さてどうなると思う？文と絵に引き寄せられる一冊。 あるところに、くいしんぼうのめんどりがいました。好き嫌いを言わず、なんでもよく食べるので、ずんずん大きくなっていきます。一方、丘の上には、？せ細ったキツネが一匹。おなかをすかせたキツネは、めんどりを食べてやろうと近づきますが、思いとどまります。—もう少し待てば、めんどりはもっと大きくなるぞ！—がまんを重ねたキツネは、あるひ、今日がその日だと猛突進！鶏小屋の窓を突き破って飛び込みます！さあ、食べられちゃうの？めんどりさん！！	
小学校・低学年					
1		チョウになりたい マルク・マジスキ/作・絵 吉井 千代子/訳 978-4-323-07570-9	金の星社 2024.9 1,760円	誰に何を言われても、自分の「好き」を大事にする。応援してくれる人がいれば、それができるから—(帯より) 自分らしくありのままにというメッセージにあふれた絵本。 「好き」の力。誰に何を言われても、自分の「好き」を大事にする。応援してくれる人がいれば、それができるから—。 好きなチョウの衣装で出かけた男の子。他の子達からかわわれ衣装も壊されて家に戻った男の子をパパは優しく抱きしめる。力をもらい男の子は再び衣装を作り外に出ると今度は自分の好きに羽を広げ、チョウになりきるのだった。	
2		おはよう おとなりさん ダヴィデ・カリ/文 マリア・デク/絵 橋本 あゆみ/訳 978-4-7598-2441-4	化学同人 2024.10 2,530円	オムレツを作りたいのに卵がない！お隣さんからお隣さんへと探していくうちに、ついにはおいしいそうなリングのケーキに！でもいくつに切り分ける？リズムカルな文章もおもしろい絵本。 あるところに、オムレツを作りたいネズミがいました。たまごが1ついるけれど、家には1つもありません。そこで考えました。「おとなりのクロウダリさんに聞いてみよう」「おはよう、おとなりさん。たまごなんてもっていたりしないかな？オムレツを作りたいんだ」「ごめんね、もってない。でも、小麦粉ならあるよ」おとなりさんからおとなりさんへ。たまごはみつからないけれど、色んな材料のおすそわけが集まっています…。	
3		はじめての クリスマス マック・バーネット/文 シドニー・スミス/絵 なががわ ちひろ/訳 978-4-03-328680-8	偕成社 2024.10 1,760円	おもちゃ作りと配達しかしていなかったサンタさんのために奔走するしろくまとエルフたちのおかげで、とてもすてきで特別なクリスマスを初めて過ごし…。 昔々。サンタのクリスマスは、寂しいものでした。世界中の子どもたちにプレゼントを配ったあと、家に帰って眠ったら、よく日からまた、おもちゃづくりを始めるだけ。それを知ったしろくまは、エルフたちに言いました。「え、それだけ？ クリスマスなのに？」エルフたちは、相談を始めます。「サンタさんのために、なにか 特別で すてきなことを やらなくちゃ！」さあ、サンタはどんなクリスマスを迎えることになったのでしょうか。	
4		うつくしいってなに？ 最果 タヒ/作 荒井 良二/絵 978-4-09-725276-4	小学館 2024.7 1,870円	「うつくしいってなに？」からはじまるこの絵本を、その問いを胸に読みすすめていくと、夕暮れ、海、瞳、夜空、またたく星…大好きなものに囲まれて眠る幸せに包まれる。 きみの だいじなものは なに？ 女の子が部屋から窓の外を眺めています。窓から見えるいろいろな景色。夕暮れ、海、船、夜空、星、都会の明かり。部屋の中の家具やおもちゃ。ネコ。やがて女の子は自分の世界に包まれて、眠ります。詩人最果タヒと絵本作家荒井良二が紡ぐ、夢のような物語。	

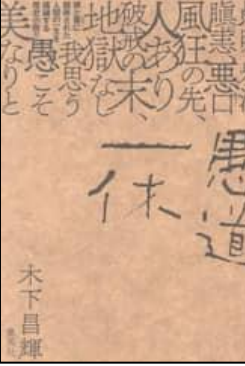
5		ようかいばあちゃんちのおおまがどき 最上 一平/作 種村 有希子/絵 978-4-406-06805-5	新日本出版社 2024.7 1,540円	すみれちゃんは、夏休みに、もう91才になるようかいばあちゃんの家で一人でお泊り。自然と一体化して生きてきた曾祖母との時間は唯一無二のもので、温かい気持ちになる童話。『ようかいばあちゃん』シリーズ4作目。 すみれちゃんは、夏休みにようかいばあちゃんちにやってきました。一晩家に泊めてもらうのです。日暮山にちょうどお日さまが沈むころでした。山の上は真っ赤です。まわり中がピカピカして、こわくなってきました。それで、家の中にむかって大声でよびました。「ようかいばあちゃん。きて！ すぐに きて！」
6		ぞうのうちはまわる 重松 彌佐/文 しろべこり/絵 978-4-406-06789-8	新日本出版社 2024.6 1,540円	地球に優しいぞうのうち。これは、札幌円山動物園の4頭のぞうが出す400kgのうんちが堆肥に変わるSDGsのお話。 ここは札幌市円山動物園。人気者はミャンマーからきた4頭のアジアぞうと夏にうまれた赤ちゃんぞうだ。1日のうんちの量は4頭でなんと400キロ。動物園ではこのうんちをたいひにかえている。園内には緑が青あおとしげり、野菜が育つ。野菜は動物たちのえさになる。これが動物園のSDGs。
7		りりの思い出せないものがたり たかどの ほうこ/作 高橋 和枝/絵 978-4-591-18190-4	ポプラ社 2024.6 1,540円	2年生のりりには、どうしても思い出せないけど不思議でとてもすてきな感じだけが残っている思い出があった。ある日、ハンカチが旅する物語を聞いていると…。 何か、とてもおもしろいものを見たような気が…不思議できれいな…とにかく、とてもとてもいいものを…。ああ、やっぱり思い出せない！小学2年生のりりと、おばあちゃんのお友だちのフサ子さん。ふたりの思い出をむすんだのは、水玉のハンカチの物語でした。
8		となりのじいちゃんかんさつにっき ななもり さちこ/作 たまゑ/絵 978-4-652-20620-1	理論社 2024.5 1,485円	あさがおが枯れた。あさがお日記どうしよう。隣のあさがおを観察していたら、あれれ？となりのおじいさんあやしいぞ！観察日記にも引き込まれます。 あさがおが、枯れ、となりのあさがおを観察したら…。あれれ、なんかとなりのおじいさん、あやしいぞ！
9		いちかちゃん いとう みく/作 中田 いくみ/絵 978-4-7743-3553-7	くもん出版 2024.5 1,430円	「いちかちゃんは、忘れ物が多かったり、ぼーっとしていたりだけれど、ぼくはいちかちゃんのすてきなところがあるよ。」心の成長を考える一冊。 いちかちゃんは、同じ年のいとこです。ぼくのほうが、二か月おそく生まれたけれど、おかあさんも、いちかちゃんのおばさんも、ぼくをとってもたよりにしています。なんでかっという、いちかちゃんは、いつもぼーっとしているからです。いちかちゃんのすてきなところ見つけた！友だちのことを考えてみよう。
10		日曜日生まれの女の子 中脇 初枝/再話 さとう ゆうすけ/絵 978-4-03-960460-6	偕成社 2024.10 1,870円	魔女の誘いにのって、動物に姿を変えられてしまった兄さんたちを助けるために、日曜日生まれの女の子はたった一人で旅立つ。ドイツに伝わる昔話。 深い深い森のおくへ。悪い魔法をうちやぶる女の子が主人公！魔女に誘われ、もどってこない兄さんたちを助けるため、女の子はたった一人で、旅立ちます。女の子の昔話えほんシリーズについてあなたが知っている昔話の主人公は、男性が多いのではないのでしょうか。女性が主人公の場合も、ひかえめでおとなしい女性ではないのでしょうか。絵本になるのはそういう昔話が多いのですが、語りつたえられてきた昔話はもっと豊かで、へこたれずに自分なりの幸せをつかむ、いろんな女性たちが登場します。これまで知られてこなかった、そんな主人公の昔話を絵本にして、これからの世界を生きることもたちに贈ります。
小学校・中学年				
1		ぼくのなかみはなにでできてるのか かさい まり/作 おとない ちあき/絵 978-4-323-07544-0	金の星社 2023.11 1,595円	クラスメイトにからかわれて言いたいことも言えず、みんなに合わせて笑うだけの小4のはると。もやもやした気持ちから「僕の中身は何でできているのか」と考える。母親や友だちの関わりから「なりたい自分」に変わっていく。 ぼくは、動かなくなった時計を分解したことがある。ドライバーでネジを外してー。夢中でやってみた。
2		タケシのせかい 室井 滋/文 長谷川 義史/絵 978-4-7520-1102-6	アリス館 2024.6 1,650円	パパの部屋にある秘密の箱をこっそりあけてみたら手紙が入っていた。パパのQに答える内に、「一人一人違っていい！」ことに、タケシは気付いていく。 パパの部屋にある、秘密の箱。こっそり開けてみたら、そこには手紙が入っていた。タケシの世界、ヒカルくんの世界、ミカちゃんの世界…。みんなの世界は、どんな世界？
3		いつも仲間といっしょ エナガのくらし 東郷 なりさ/作 江口 欣照/写真 978-4-8299-9021-6	文一総合出版 2024.10 2,200円	あまり知られていない、エナガのくらし。家族、親せき、ほかの種類の鳥たちとも！？仲間とくらすその理由が分かります。「命のつながり」シリーズ ⑦ 北海道にすむ大人気のシマエナガではなく、本州より南にすむエナガの写真絵本です。エナガは体が小さく、日本国内で見られる野鳥では最小級。もふもふとした羽毛がかわいいと人気ですが、どんなくらしをしているのかは、あまり知られていません。家族だけでなく、親せきや、ときにはほかの種類の鳥たちともいっしょに行動します。仲間がいなくては生きていけない小鳥、エナガ。その一年のくらしを紹介します。
4		動物の義足やさん 沢田 俊子/文 978-4-06-535730-9	講談社 2024.6 1,650円	動物のための義足や体を支える装具を専門に作る島田さんが救った動物たちの、ノンフィクションの物語。 動物たちが、もう一度自由に動けるように手助けができたらー。そんな思いで、動物のための義足や、体を支える装具を専門に作っている人がいます。その人、島田旭緒さんが作った装具は、なんと3万匹分！どんな動物たちに、どのような装具を作ってきたのでしょうか？

5		ひき石と24丁のとうふ 大西 暢夫/著 978-4-7520-1100-2	アリス館 2024.4 1,760円	90才のミナさんは、100年以上前から使われている「ひき石」で、早朝から24丁の豆腐を作り続ける。 岩手県二戸市。だれもいない山奥で、豆腐を作り続ける、ミナおばあさん。目の不自由な彼女が、90歳をこえ、手で動かす道具だけで作り続けた、豆腐の味。その日々の姿と声を伝えます。16年に渡る取材から生まれた写真絵本。
6		安房直子絵ぶんこ 1 ふろふき大根のゆうべ 安房 直子/文 アヤ井 アキコ/絵 978-4-7515-3201-0	あすなろ書房 2024.4 1,650円	寒い寒い夕暮れ時、峠の茶店の茂平さんは山道で出会ったイノシシに、掘り立て大根を1本分けてあげると…。心が温くなる童話。 心がぽっとあたたかくなる、やさしい童話集。さむいさむい夕ぐれどき、茂平さんは、山道でであったふしぎないのししに、ほりたての大根を一本わけてあげました。すると…。 安房直子絵ぶんこシリーズ第1弾！ 全9巻刊行予定
7		こそあどの森のひみつの場所 岡田 淳/作 978-4-652-20607-2	理論社 2024.10 1,650円	こそあどの森にすむ人たちのないしょの7つの物語。ことばにできない大切な物語の数々に、心が温まる。 あのときみたことあったこと。ことばにできないたいせつなこと。そんな物語をみんなもつてる…。こそあどの森のひとたち、それぞれのひみつでないしょの7つの物語。
8		こころ ころころ 荒井 洋行/作 北村 みなみ/絵 978-4-265-15003-8	岩崎書店 2024.6 1,650円	ころころ変わる気持ちの変化を優しく見つめることができる本。臨床心理士によるリラククス法も書かれている。 あーもうさもちにふりまわされてうんざりしちゃう。ころころがつかれてしまうのはぼくだけ？わたしだけ？ころころころころかわる。ありのままの気持ちの変化を描く、自分の心にやさしくなれる絵本。 臨床心理士今井正司先生による解説付。
9		はじめてのなぜなにふしぎえほん うちゅうのなぜ 的川 泰宣・斎藤 紀男/監修 てづか あけみ/絵・文 978-4-7562-5745-1	パイインターナショナル 2024.6 2,090円	日常の中で子どもたちが初めて出会う「宇宙」に関するふしぎを、カテゴリー別で紹介してくれる知識本。質問、説明文、答えが、わかりやすく書かれてある。 「はじめてのなぜなにふしぎえほん」シリーズ 「月が、あとをついてくるように見えるのはなぜ？」「星って、みんなまるい形なの？」「うちゅうには、音やにおいはあるの？」「ブラックホールって、いったいなに？」といった、うちゅうのなぜにふれ、親子で学べる1冊。 「うちゅう」のふしぎがたくさんつまった、大好評シリーズ第3弾！
10		ねえねえ、なにに見てる？ ビクター・ベルモント/絵・文 金原 瑞人/訳 978-4-309-23155-6	河出書房新社 2024.5 1,793円	色の見え方がほかの人とちがうトーマス。自分のかける「目に見えないメガネ」について考えよう。多様性と他者理解について知るSDGs絵本。 多様性と他者理解について知るSDGs絵本。科学者のママ、ゲーム好きのパパ、音楽家のおじさん…同じ場にいても、見ているもの、その見え方はまったくちがう！？きみには、どんなふうに見えてる？
小学校・高学年				
1		海 ビーグル号で海たんけん 高久 至/著 はせがわ はっち/イラストレーション 978-4-7520-1106-4	アリス館 2024.6 2,695円	改造した古い車「ビーグル号」に乗って、日本全国の海を美しい写真で紹介している。。日本の海の多様性や魅力を感じられる絵本。最後のページの地図を開いて読むと、探検した場所がよくわかる。 東京から広島のおばあちゃんの家で一人でやって来た巧海。ある日、訪れた図書室で、みつあみの女の子を見かける。しかし、着ているものなど何か様子がおかしい。一人の少女を通して、1945 年のあの夏、何が起きたのかを知っていく。 海にもぐって日本一周。高久至が見てきた、さまざまな海のすがた。
2		えほん ときの鐘 小林 豊/作・絵 978-4-591-18182-9	ポプラ社 2024.6 2,200円	江戸の街に時を告げる鐘。鐘つき役の孫、新吉は江戸参府中のオランダ人ヤンと知り合う。自由に歩きまわれないヤンのためにこっそり船から江戸の街を案内することに…。 ゴォーンゴォーン。ときを知らせる鐘がひびく。江戸のまちにオランダ人がやってきた。はじめて異国の人と出会った少年の一日を、美しい江戸の風景とともに描く一。
3		ジャングルのチョコレート工場 甘いチョコの甘くない現実に挑んだ大学生 横山 亜未/著 978-4-591-18170-6	ポプラ社 2024.7 1,980円	大学生になった愛さんは、目標を探すうちに、大好きなチョコレートの原材料カカオの生産国ガーナへ飛び立つ。突然やって来た19才の日本人ということもあり村の人々も驚くが次第に受け入れていく。一方、愛さんはカカオ農家の恵まれない環境を変えたいと「カカオ革命」を起こしてゆく。ノンフィクション。 遠いガーナの地でカカオビジネスに変革をもたらした田口愛さんの活動を追った児童向けノンフィクション。コンセプトは「境界線を溶かすチョコレート」。生産者と消費者の境界線を溶かし、両者がチョコレートを通して幸せになってほしいという願いが込められている。「社会貢献なんて大きなことをしなくてもいい」。まずは周りにいる人に愛を持って接すること。小さなことでも大きな愛で接すれば世界は変わる」という彼女の活動を紹介する。
4		魔法のルビーの指輪 イヴォンヌ・マッグローリー/著 加島 葵/訳 深山 まや/絵 978-4-86085-146-0	朔北社 2024.7 1,870円	11才直前に指輪をもらったルーシー。代々受け継がれてきたこの指輪には願いを2つかなえてくれるというひみつがある。ルーシーは嬉しさのあまり試してみたくなり…読みごたえありのファンタジー。 十一さいの誕生日の前日に、指輪を贈られたルーシー。その指輪は、おばあちゃんのものまたおばあちゃんのおじさんにあたる、ジェームズおじさんから代々受け継がれてきたものだった…。

5		北緯44度 浩太の夏 ぼくらは戦争を知らなかった 有島 希音/作 ゆの/絵 978-4-265-84047-2	岩崎書店 2024.5 1,650円	北海道の西北、日本海に面する小平町。小学5年生の浩太たちは、終戦直後の町で起きた悲しい事実を知る。(本の帯より) 三船殉難事件。1945年8月15日に日本が敗戦を国内外に宣言した7日後、樺太から引き揚げてきた人たちを乗せた非武装の船が、北海道西北の海で攻撃を受け沈没、大破した。作者が故郷の海で起こった事件に正面から向き合った入魂の作。
6		自分らしく、あなたらしく きょうだい児からのメッセージ 高橋 うらら/著 978-4-378-01567-5	さ・え・ら書房 2024.9 1,650円	病気や障害のある兄弟姉妹をもつ子どもたち。高校生と社会人となった二人の心の葛藤を描いた前向きな気持ちになれるノンフィクション。 きょうだい児一病気や障がいのある兄弟姉妹をもつ子どもたち。家族を思う気持ちと、自分自身の生き方のあいだで、きょうだい児たちは、どのように道をひらいてきたのか。みずからも元きょうだい児である著者が、家族の障がいと向きあう子どもに光をあてたノンフィクション。
7		とびたて！みんなのドラゴン 難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険 オザワ部長/著 978-4-265-08041-0	岩崎書店 2024.9 1,650円	日明小学校合唱部は、4月から難病ALSを抱える先生が顧問となった。合唱部の子どもたちと目標に向かって練習した日々の奮闘を描いたノンフィクション。 内気で人前で話すことができないマナミが通う小学校にはただひとつの部活動、合唱部があった。上手なだけじゃない、部員たちの輝く姿を見て、マナミは入部を決意する。でも、4月から顧問になった先生には、ある秘密があった―
8		復活！まぼろしの 小瀬菜だいこん 野泉 マヤ/文 丹地 陽子/絵 978-4-580-82643-4	文研出版 2024.8 1,650円	友だち作りが苦手な6年生の鈴は、お母さんの実家がある宮城県小瀬で、まぼろしの伝統野菜「コゼナダイコン」の花を見つける。自然食品の店で出会った中学生と一緒に取り組んだ伝統野菜復活の物語。 6年生になった鈴は、友だち作りが苦手。そんな鈴はママの実家、宮城県の小瀬で白いお花畑を見つけ、そこで農業をしている老人と出会った。数日後、ママに買い物頼まれて自然食品のお店に行くと、そこで「伝統野菜」について熱心に語る中学生の牧人に出会った。牧人があきらめていた伝統野菜「小瀬菜だいこん」は、鈴が見つけた小瀬のお花畑と関連が……。小瀬菜だいこんは再び生産されるのか？伝統野菜の復活に取り組んだ小学校6年生と中学生と農家の物語。
9		くらしをささえる乗りもの 飛ば！山小屋ヘリコプター 星野 秀樹/写真 池田 菜津美/文 978-4-03-726800-8	新日本出版社 2024.7 2,860円	標高3080mにある山小屋。夏から秋にかけて、たくさんの登山者がやってくる。その山小屋で必要な荷物を運ぶのが山小屋ヘリコプター。どんなふうに運ぶか紹介している。「くらしをささえる乗りもの」シリーズ 山ガール・ボーイのあこがれの山、3000mを越える槍ヶ岳の山小屋へ必要な荷物をはこぶのは、フランス語でリスを意味する「エキュルイユ」というヘリコプター。名前の通り小さいけれどとっても力持ち。山小屋の生活をささえるのりものは何をほこび、なぜ高空まで荷を持ち上げられるのか、その仕事っぷりがかっこいい写真で紹介。
10		見えない壁だって、 越えられる。 クライマー小林幸一郎の挑戦 高橋うらら/文 978-4-323-07557-0	金の星社 2024.9 1,650円	高校生までやりたいことが見つからず、退屈な日々を過ごしていた小林さん。ある日、フリークライミングと出会う。楽しみを見つけた最中28歳の時にいずれ失明する難病が発覚する。逆境にもめげず、ひたすら可能性を信じて活動する小林さんの記録。 視力を失うという経験乗り越えてトップクライマーになり、より多くの人に、挑戦する喜びを知ってもらおうと奮闘する小林幸一郎さんの活動の記録。 28歳で目の難病が発覚したパラクライマー・小林さん。失意の底にいた彼を救ったのは、16歳で始めたフリークライミングだった。視覚障害者にクライミングの楽しさを広める活動も行う彼の半生から、誰もがもつ可能性と挑戦の楽しさを伝える

2024年度(令和6年度)				
冬休みにおすすめする本				
			選 定 北海道学校図書館協会	
			選定協力 札幌市学校図書館協議会	
	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 税込価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
中学校				
1		わたしは食べるのが下手 天川 栄人/作 978-4-338-28728-9	小峰書店 2024.6 1,760円	食べることは生きること。でも、食べられない子、食べたくない子、もっと食べたい子、事情は様々。中学一年生の葵と咲子は「全員完食」の給食の革命をしようと行動を起こす。 少食で食べるのが遅い葵は、食事の時間が苦手。とくに給食は…。「小林さんさ、たぶん君、会食恐怖症だわ」無理に油淋鶏を飲みこんで気持ちが悪くなった葵は、保健室でクラスの問題児、咲子にそう言われる。実は咲子も、食にかかわるある悩みを抱えていた。そんな二人は、新任のイケメン栄養教諭に焚きつけられて、給食改革に乗り出すことに…。わたしたちが望む給食って、いったいどんなだろう？
2		みかんファミリー 椰月 美智子/著 978-4-06-536492-5	講談社 2024.8 1,760円	完璧な家族じゃなくなっただけいいんじゃない？思いがけずに母親同士が意気投合、同級生と同じ家で暮らすことになった。美琴と野々花、タイプが違う二人は、最初はよそよそしく接していたけれど、少しずつお互いを理解し合っていく。 その生にくさ、ひとりで抱えなくていいのかもしれないかも。――。 美琴は、シングルマザーのお母さんとおばあちゃんと暮らしている中学1年生。ある夏、お母さんがかつて同級生だった朱美さんと再会し、古い家を買って一緒に住むという計画を突然発表します。お母さんはこんな勝手な人ではなかったはずなのに…。…。どんな人たちなのかよく知らないまま、共同生活がスタートするのですが、紹介されたのは、すこし変わった人として名を馳せるとなりのクラスの子。でも、6人で一緒に暮らす中、いろんな“あたりまえ”が色あざやかに変わっていくのです……。

3		光の粒が舞いあがる 蒼沼 洋人/著 978-4-569-88174-4	PHP研究所 2024.7 1,430円	母子家庭の心愛。父子家庭のこはく。二人の少女の迷いと悩みと憧れが、ボクシングを通して紡がれる。二人を取りまくクラスメイトや大人たちの成長物語でもある。 あの子みたいに、強くなれたら。だれかと出会うこと。あこがれること。勇気をもって向き合うこと。そうしてひとは、強くなる。母子家庭でどんなことにも打ち込めない心愛。父子家庭でボクシングにしか打ち込めないこはく。対照的な少女ふたりの出会いと成長を描いた青春小説。
4		それはわたしが外国人だから？ 日本入管で起こっていること 安田 菜津紀/著 高橋 済/法律監修 金井 真紀/絵と文 978-4-591-17926-0	ヘウレーカ 2024.4 1,980円	「外国ルーツ」の人々が「生活する」というあたりまえの権利を守られていない。入管法や難民について今どんな困難を抱えているか考えさせられる。 あちらこちらで見たり聞いたりする「多様性を大切にしよう」というスローガン。でも、わたしたちの社会はほんとうに多様性が守られている？一人ひとりが大切にされている？この本では、日本以外の国籍をもっている人や、外国にルーツをもつ人たちのなかで、人間らしい生活ができない状況に追い込まれている人たちのことについて、いっしょに考えていきます。
5		タコのなぞ 「海の賢者」のひみつ88 池田 譲/著 978-4-06-536416-1	講談社 2024.8 1,980円	タコを見る目が変わる1冊。知られざるタコのひみつを、88コの質問から解き明かす。 「分からない」って、おもしろい！驚きと発見のタコの世界へようこそ！琉球大学でいまも研究を続ける日本一の「タコ博士」が、いまだ多くの部分が謎のベールに包まれているタコについて、88個のQ&A方式で解説する一冊。 ●タコには心臓が3つ、脳が9つある！？ ●タコの中では、じつは折り曲げる場所が決まっている？ ●タコは力持ちだけど、「重さの違い」はよくわからない？…
6		王様のキャリー まひる/著 978-4-06-536494-9	講談社 2024.8 1,595円	主人公勝生とリオ、対等ではなかった二人がオンラインゲームを通して心通わせていく。障がいをもつ子の繊細な心理描写が素晴らしい。 中学2年生の勝生が憧れているeスポーツプレイヤー、lion。不遜な態度と見るものを魅了するプレイングから、ついたあだ名は「王様」。ある日訪れた病院で勝生はlion本人に出会うが、彼は車椅子に乗った少年だった…。一気読み必至の、今どきeスポーツストーリー！
7		中学生からの絵本のトリセツ 川口 かおる/著 978-4-00-027257-5	岩波書店 2024.6 1,595円	岩波ジュニアスタートブックス 飾る、伝える、読んでみる…絵本との付き合い方を紹介してくれる1冊。図書委員として活動する方にはもちろん、学生生活に迷いをもっている方にもおすすめ。 絵本は「小さい子どもたちの読み物」「情緒を豊かにしたり、知識をつけたりするもの」と思っている人も多いのでは……。本書ではそんなイメージを覆す絵本の楽しみ方や味わい方を、「アート」「推し」「10代の悩み」など様々な切り口から紹介します。そうして出会う古今東西の作品を、巻末にリスト化して掲載。
8		森と、母と、わたしの一週間 八束 澄子/著 978-4-591-18338-0	ポプラ社 2024.10 1,540円	ストレスで心身のバランスを崩した中2の野々歩。母がボランティアとして働く「森のようちえん」で過ごし少しずつ生きる力を取り戻していく。実際の幼稚園をモデルにした物語。 おばあちゃんの葬式のあと、実家に残ったまま帰らぬ母。父とのなれないふたり暮らし。このところ、友だちともうまく距離をはかれない。そんなとき、風によばれた。一行こう。あの町へ。山にかこまれた小さな町で、少しずつ、野々歩の中のなにかが変わっていく。
9		きのうの君とみらいの君へ 思春期の6人の物語 天川 栄人/作 くりた ゆき/本文イラスト 978-4-08-321850-7	集英社 2024.6 825円	集英社みらい文庫 実際の体験談を元とした6つの物語を短編集に。LGBTQの当事者もそうじゃない人も互いに理解し合うための一冊。 「恋したのは同性の先生だった」…それってふつうじゃないのかな？「女だけど、恋したのは女の先生」「ゲイであることを友だちにかくしている」「自分の身体と割り当てられた性別に、違和感がある」など…。LGBTQ+当事者の、セクシュアリティ(性のあり方)になやんだ体験談を6編の小説に！かんたんな用語集やコラムも収録！
10		呼人は旅をする 長谷川 まりる/著 978-4-03-727480-1	偕成社 2024.10 1,650円	呼人は、なにかを寄せてしまう。動物や、虫や、植物、自然現象。だから、ひとつの場所にとどまらず、旅をする。人とちがうこと、それでも隣りあって生きること。痛みと希望の連作短編集。 「呼人」とは、なにかを引き寄せる特殊体質。原因は不明でごく少数だが一定の割合で発現する。政府機関によって認定され、生活に制限がある。5人の呼人と、呼人に関わる人たちの姿から、社会の中で少数であること、そうした状況で生きるというのはどういうことか、を描く。
高等学校				
1		わたしは、あなたとわたしの区別がつかない 藤田 壮真/著 978-4-04-683661-8	KADOKAWA 2024.7 1,650円	中学3年時の夏休みの課題作文が文学科学大臣賞となる。タイトル「自閉症を持つ私から見た日常」は大きな反響を呼んだ。15歳の自閉症の世界のすべてを綴った自伝エッセイ。 自閉症者は何を考えているのか？世界がどういう風に見えるのか？葛藤や喜びなど、その心の声を真っすぐに書いた自伝の登場！15歳、自閉症当事者が書き下ろすみずみずしくも胸に迫るエッセイ。文部科学大臣賞を受賞した作文「自閉症を持つ私から見た日常」の作者が綴った自身の記録。
2		六月のぶりぶりぎっちょう 万城目 学/著 978-4-16-391862-4	文藝春秋 2024.6 1,870円	京都を舞台にした歴史と現代が交錯する物語。女子学生寮のお局騒動。「本能寺の変」の真実を探る殺人事件のてん末の2編。 京都の奇跡、ふたたび。奇妙、珍妙、でも感動！マキメ・ワールド最高潮！！その死体は信長一密室殺人事件に巻き込まれた私は、うっかり本能寺の変の謎に挑んでしまう…。洛中女子寮ライフー14回生以上との噂のある、女子寮の“お局様”の正体は！？京都の摩訶不思議を詰め込んだ「静」と「動」の2篇。

3		【新訳】 ジョニーは戦場へ行った ダルトン・トランボ/著 波多野 理彩子/訳 978-4-04-082504-5	KADOKAWA 2024.9 1,496円 角川新書	『ローマの休日』『スパルタカス』…赤狩りでハリウッドから追放されながら数々の歴史的名作を生んだ稀代の脚本家、トランボ。彼が第二次世界大戦中に発表し、過激な反戦小説として波紋を呼んだ問題作、待望の新訳！仏戦線で触覚以外の感覚と、四肢をすべてを失った青年・ジョー。世界から追い出された彼が思索と闘争の果てに見つけた希望とは？主人公が絶望に抗いアメリカの実像を問う。
4		愚道一休 木下 昌輝/著 978-4-08-771869-0	集英社 2024.6 2,200円	とんち話で有名になった一休さん。南朝と北朝の血をひき、天皇の子でもある禅僧。彼の禅の探求にかけた波乱万丈の生涯の物語。 「立派なお坊さんになるのですよ」。母の願いを受けて、安国寺で修行する幼い千菊丸だが、禅寺は腐敗しきっていた。怠惰、折檻、嫉妬、暴力。ひたすら四書五経を学び、よい漢詩を作らんと…本当の救いとは、人間とは、無とは何なのか。…修行の道なき道をゆくのだった。己の中に流れる南朝と北朝の血、母の野望、数多の死、飢餓…風狂一休の生そのものが、愚かでひたすら美しい歴史小説の傑作。
5		読む ダンス ARATA/著 978-4-08-721318-8	集英社 2024.6 1,760円 集英社新書	J・POPからK・POPまでの72作品の各ダンスの動きを秒単位で解説。ダンスの魅力や、ダンサーの個性、パフォーマンスを多角的に文字で表現した新しい切り口の一冊。 K・POPからJ・POPまで、話題のあのダンスを語りつくす！全72作品徹底解説。K・POPからJ・POPまで、老若男女問わず「見る／踊る」ダンスへの関心は高まっている。しかし、そのダンスの何かすごいのか、どんな難しさがあるのかを説明するのは難しい。ダンサーの目線、ダンス講師の目線、振付師の目線と、多角的かつマニアックに各アーティストのパフォーマンスを考察する。